

日本フンボルト協会 2021年度第4回常務理事会 議事録

日時：2022年3月26日（土）14時から16時30分

形態：オンライン会議

出席者：伊藤 眞（理事長）、縣 公一郎（副理事長）、浅田 和茂（副理事長）、伏木 信次、広渡 清吾、井田 良（関東甲信越支部長）、居城 邦治（北海道支部長）、西土 彰一郎、岡林 洋、高橋 宗五、高橋 輝暁、高橋 義人、高山 佳奈子、武内 謙治（九州支部長）、鏑田 武志、山本 敬三、関映子（事務局）

欠席者：種村 眞幸、西川 伸一（関西支部長、副理事長）、坂越 正樹（中四国支部長）、櫻田 嘉章、須田 利美（東北支部長）、守矢 健一、和田 肇（中部支部長）

【報告事項】

1. ドイツ研究留学説明会について

- 鏑田常務理事（留学説明会担当）より下記の通り報告があった。……資料1
 - ・日時：2022年1月8日（土）
 - ・オンライン形式
 - ・登録者136名、参加者80から90名
 - ・アンケートの結果（資料1）から、説明会は概ね好評であることが分かった。ただし、参加者の所属大学に依然として偏りがみられることから、各支部を通じて、一層の広報をお願いしたい旨の発言があり、各支部からも了承された。
- 鏑田常務理事より、今後のドイツ研究留学説明会について、下記の通り提案があり、審議の結果、了承された。
 - ・参加者から全体説明会のビデオを見たいという要望があり、全体説明会については録画しYouTubeでの限定公開を検討する。
 - ・今後日本フンボルト協会本部及び各支部がドイツ留学希望者にも有意義なイベントを年間一定数開催することになれば、留学説明会参加申し込みの際、このようなイベントの案内の送付の可否について照会し、希望者にはメールで案内を送る。

2. 第5回オンライン コロナ・シンポジウムについて

西川副理事長（企画担当）が欠席のため、事務局より、第5回オンライン コロナ・シンポジウムについて、下記の通り報告があった。

- ・日時：2022年1月29日（土）
- ・オンライン形式
- ・題目：「日本の Covid-19 対応の問題点—医学と疫学行政の観点から—」
- ・講演者：見玉 龍彦先生（東京大学先端研 がん・代謝プロジェクトリーダー）
末松 誠先生（慶応大学医学部教授・日本医療研究開発機構初代理事長）
- ・参加予定59名（参加50名、欠席9名）
- ・YouTubeにはすでに会員限定で公開されているが、今後、公開期間を設けるかどうか検討する。

3. 各支部の総会・講演会の報告（すべてオンラインで開催）

○ 東北支部

須田支部長が欠席のため、事務局より、下記の通り報告があった。

- ・2021年11月6日（土曜）13時30分から17時30分まで
- ・第一部：支部総会の出席者は10名
- ・第二部：記念講演会（14時30分から15時30分まで）32名参加
- ・長谷川 隆文（当会理事）（東北大学大学院医学系研究科 副科長・准教授）
「ここまでわかったパーキンソン病－診療・研究の最前線」

○ 九州支部

武内支部長より、下記の通り説明があった。

- ・2022年1月28日（金）18時から18時45分まで 講演会 出席者12名
- ・遠藤 歩（当会評議員）（九州大学 大学院法学研究院）
「日本家族法の特徴——フランス、ドイツとの比較から」

○ 関西支部

西川支部長が欠席のため、浅田副理事長より、下記の通り説明があった。

- ・2022年3月6日（日）関西支部拡大理事・評議員会後、15時過ぎに講演会開催。
参加者19名
- ・井上匡美会員（京都府立医科大学呼吸器外科）「肺がん治療の最前線」

○ 中部支部

和田支部長が欠席のため、事務局より、下記の通り説明があった。

- ・3月12日（土）10時から講演会と総会を開催。
参加者は29名（DAAD友の会会員8名、独文学会の参加者4名含まれる）
- ・今野 元会員（愛知県立大学教授、2021年度シーボルト賞受賞）
「ゲオルク・イエリネックと三人の日本人留学生: 美濃部達吉・上杉慎吉・吉野作造にとってのハイデルベルク」
- ・講演会のYouTubeが完成しており、近日中に日本フンボルト協会会員限定でURLを知らせる。

○ 関東甲信越支部

井田 支部長より、下記の通り説明があった。

- ・3月19日（土）総会と講演会を開催（14時から15時30分まで）。参加者35名。
- ・前田良三会員（立教大学名誉教授。2021年に「第31回・吉田秀和賞」を受賞）
題目は「ナチス絵画をめぐるって」
- ・講演会については、YouTubeに掲載する予定であるが、本支部講演会を、中部支部講演会と合わせて日本フンボルト協会会員限定で公開する準備を進めている。

○ 北海道支部

居城支部長より、下記の通り説明があった。

- ・3月24日（木）講演会と支部総会を開催（17時から18時30分まで）。参加者19名。
- ・辻信弥 特任助教（北海道大学 化学反応創成研究拠点）
「ドイツで過ごした博士課程～2021年ノーベル化学賞受賞研究室からの風景」

○ 中四国支部

坂越支部長が欠席のため事務局より、下記の通り説明があった。

- ・2021年6月「中国四国支部通信」を作成し、メール添付と郵送により配布。

【審議事項】

1. 2022年度の総会について

伊藤理事長より、2022年度の総会について、下記の通り提案があり、審議の結果、了承された。

- 6月11日（土）オンラインで開催
- 13時15分から14時まで：常務理事会・理事会
- 14時から14時50分まで：総会
- 15時から16時まで：講演会 ドイツ大使による講演会 テーマは調整中
 - ・講演テーマについては、事務局から大使館に問い合わせることになった。

2. 日独共同研究奨学金について

事務局および浅田副理事長より、日独共同研究奨学金の応募状況について、現時点で2件の応募の見込みであることが報告された。応募数を増やすための方策として、以下の事項が提案され、審議の結果、了承された。

- ・2022年度同奨学金の申請締め切り期日を4月16日とすること。
- ・本奨学金の申請規程を遵守しつつも、申請数およびコロナ禍の状況を踏まえ、申請規程を弾力的に運用すること。

3. 会計について …………… 資料2

高橋宗五常務理事（会計担当）より、2021年度会計収支の経過について説明があり、審議の結果、了承された。

その際、Zoom講演会の謝礼（4人分、8万円）及び、Zoom設定費やマカフィー（セキュリティーソフト）更新代金の扱いについて審議され、今年度はすでに計上品目などについて、総会で承認されているので現状通りとし、次年度からは、前者については、計上項目を「総会・説明会等開催費」を「総会・説明会・講演会等開催費」に、後者については、「事務用品費」を「事務経費」と変更したうえで、それぞれの中に計上することが了承された。

4. 協会ホームページについて

種村常務理事（ホームページ委員長）が欠席のため、居城常務理事（ホームページ委員）より、ドイツ研究留学希望者を増やすために、留学説明会分科会で説明した若手フンボルト奨学生および本協会員

でないが、講演会での講演者等に、最新のドイツにおける各分野の研究状況について寄稿を依頼する旨の提案があり、審議の結果、以下の通り承認された。

- ・執筆規程および協会 HP の掲載場所などについて、まずはホームページ委員会で詳細を検討すること。
- ・掲載についてはホームページ委員会の判断に任せるが、最終的には、理事長と副理事長の了解を得ること。

5. Zoom 講演会の今後の予定について

- 岡林常務理事より、次の Zoom 討論会開催について報告があった。
 - ・現在 20 名が参加申し込み、今後 DAAD 友の会と独文学会からも参加者を募る予定。
 - ・世話役：三木順子理事、岡林洋常務理事
 - ・日時：2022 年 4 月 16 日（土）14 時から 16 時
 - ・方式：オンライン（Zoom）。後日、YouTube に掲載する。
 - ・報告者：岡田暁生先生（京都大学）と貫成人会員（専修大学）
 - ・「文化の危機への応答—3つの時代〈大戦、東西、コロナ〉のなかに聴く芸術の声—」
- 縣副理事長より、Zoom 討論会について、以下の企画の準備を進めているとの報告があった。
 - ・日程：9 月頃開催を予定しているが、前倒しでの開催の可能性を講演者と相談する。
 - ・報告者：城山英明先生（東京大学法学部政治学研究科教授）と川村陶子先生（成蹊大学）
 - ・テーマ：Covid-19 に関する社会科学系講演会「Globalism, Nationalism そして Localism」

6. その他

(1) Humboldt-Kolloquium について

伊藤理事長より、ドイツ・フンボルト財団が、本年 11 月にオンラインで開催する方向で調整中であると認識しているとの説明があった。

(2) DAAD 東京事務所長の送別会について

事務局より、4 月 11 日（月）に DAAD 東京事務所長（Mahnke さん）のお別れの会を対面式で行う旨の報告があり、本協会は、DAAD 東京事務所から、事務局スペースなどの支援を受けているため、開催のための費用の一部を支援したいとの提案があり了承された。

(3) 日独に関する情報提供について

事務局より、本協会に関する情報以外の、日独に関する情報提供のあり方について報告があり、今後、会員に対するメール送信の形式を工夫することになった。具体的には、今後、会員宛てに事務局から連絡する際に、日独関連行事の案内を必要とするかについて照会し、必要とする会員にのみメールで案内を送っていくなどの方策をとることになった。

この件と関連し、本協会会員が個別に企画するイベント情報などについて、協会 HP へ掲載を依頼する件が複数あり、これについては、ホームページ委員会で掲載規程および掲載用のフォーマットなどを、速やかに検討することになった。

(4) 次回常務理事会の日程について

次回の常務理事会は、6 月 11 日（土）に総会当日に理事会と合同で開催予定。

以上